

平成26年度初期臨床研修終了後の専門医研修プログラム

—高次集中治療部プログラム

1. 付属病院における担当部門

高次集中治療部集中治療室

2. 受け入れ身分

- 1) 医員
- 2) 大学院生

麻酔科における専門医初期研修を終了している者が望ましい

3. 初期臨床研修終了後の選択可能なコース

- 1) 選択ローテート研修コース
- 2) 専門医養成コース

専門医養成コースは、選択ローテート研修コース（6ヶ月）終了後引き続き専門医として研修を継続する者を対象とする。

4. 専門医養成コースで取得可能な専門医

集中治療専門医

5. 専門医受験資格

- 1) 医師免許取得後5年以上の臨床経験者で、集中治療に関して深い知識と経験を有すること。
- 2) 申請時に連続して5年以上、日本集中治療医学会会員の経歴を有すること。
- 3) 認定された集中治療専門医研修施設あるいはそれに準ずる施設において、定められた期間の集中治療研修経歴を有すること。

6. 研修方法

- 1) 指導医のもとでマンツーマン体制で全身管理の基本を学ぶ。

2) 高次集中治療部員、各科専門医の指導のもと幅広い症例経験をつむ。

7. 診療分野および研修目標

1) 到達目標

① 一般目標

大手術後の患者などをはじめとした、種々の臓器機能の不全状態の患者に対する治療、管理方法を習得。

- A) 全身管理上必要な呼吸、循環、代謝体液管理の基本的知識の習得。
- B) 全身管理上必要な基本的な手技、薬理学的知識の習得。
- C) 患者に合併する内科的疾患の病因、病態及びその管理法の理解。
- D) 三次救急患者の病態及びその管理に関する基礎知識の習得。
- E) 術後重傷患者の病態及びその管理に関する基礎知識の習得。
- F) 患者の社会的、家族的、精神的背景が理解でき、患者家族との良好な信頼関係を確立させる人間的資質の養成

② 具体的目標

A) 一次救命処置、二次救命処置（心肺蘇生法）

B) 中枢神経機能診断と管理法

例

意識レベルの判定、脳死判定

頭蓋内圧測定と頭蓋内圧降下療法

簡単な頭部CTの解読

C) 呼吸機能診断と管理法

例

血液ガス測定、呼気ガス測定

胸部X線、気管支ファイバー所見の基本的解読

人工呼吸（挿管などの気道確保、用手人工呼吸、機械的人工呼吸）

呼吸理学療法

D) 循環機能診断と管理法

例

血管確保（動脈、静脈、肺動脈）と圧測定（CVP, S-Gカテーテル）

心電図検査と不整脈の薬物療法、除細動、経静脈ペーシング

心不全状態判定と薬物療法、IABP、循環補助

E) 代謝、体液、栄養、凝固系診断と管理

例

輸液、輸血、経静脈栄養

腹膜透析、血液透析、血漿交換などの血液浄化法

肝不全、糖尿病性昏睡などの代謝性重症状態管理

F) 感染症管理

例

各種細菌培養と薬物療法

破傷風などの特殊感染症の管理

G) 特殊状態診断と管理

例

ガス、薬物中毒診断と処置法

溺水、重症熱傷診断と管理法

などが基本的な診断及び治療管理手技である。

2) 基礎トレーニング

① 気道の確保

マスク保持、エアウェイ挿入

気管内挿管

② 人工呼吸法

マスクバッグによる用手人工呼吸

機械的人工呼吸器の基本的設定

③ 静脈路確保

末梢静脈確保

中心静脈確保

④ 動脈路確保

動脈血採血

動脈路挿入おとび圧モニタライン設置

⑤ モニタ類の正しい使用とデータ評価

心電図モニタ

パルスオキシメータ

血液ガス分析値

電解質測定値

循環動態パラメータ

3) 専門的トレーニング

① 呼吸管理

気管、口腔内吸引

長期人工呼吸器患者の管理

気管ファイバースコープによる吸引

気胸に対する胸腔穿刺

気管切開介助

適切な鎮静法の実施

胸部レントゲン、CTの読影

② 循環管理

閉胸的心臓マッサージの実施

電氣的除細動

緊急ペースメーカーの使用

簡単な不整脈治療

スワングアンツカテーテル挿入介助とデータ診断

経胸壁心エコー検査の実施

経食道心エコー検査の実施

IABPの管理

PCPS管理補助

③ 代謝、電解質管理

輸液、輸血法の適応の決定と実施

血液浄化法のためのBlood access作成と、浄化法の実施

④ 高次中枢機能の判定と治療

意識レベルの判定

頭部CTの読影基礎

ABRの判定

脳死判定の実施

脳圧の管理

脳低温療法の実施

8. 専門医研修施設

1) 鳥取大学医学部附属病院

2) 麻酔科教育関連施設

連絡先

高次集中治療部

斉藤憲輝

TEL 38-6875 (内線 6875)